

平成 25 年度ひたちなか市青少年育成指導者研修会

発表テーマ 「おらがまちの青少年部会」

平成 25 年 10 月 26 日 (土)  
一中地区地域のふれあいを広める会  
青少年部会長 岡田 栄子

1. 1 中地区の概要

- ・人口……約 3 万人
- ・自治会……14
- ・学校……中学校 1 校 (勝田一中)  
小学校 5 校 (中根小・勝倉小・三反田小・長堀小  
・東石川小=表町・泉町・春日町・石川町)  
高校 1 校 (勝田工業高)

2. 青少年部会の成り立ち

青少年部会の前身：昭和 58 年 6 月 (市) 青少年センター内に勝田市青少年育成市民会議が設立 (総理府:国・県・市町村)、活動半ばにて昭和 62 年 4 月市民憲章推進協議会へ吸収合併、各コミ組織に編入され青少年部会活動がスタートする。  
少年の主張大会、青少年育成指導者研修会、健全な家庭づくり振興大会が現在も各地区輪番で引き繋がれている。

青少年部会組織：一中地区では、  
前身の組織をそのまま活用し、新たにできた育成団体も参加していただいている。  
○構成員 83 名 ○役員 26 名  
参加の団体名  
小・中・高校長 (7)、小・中 PTA 会長 (6)、  
一中 P 地区委員長 (5)、子ども会育成会 (11)、  
保護司 (1)、更生保護女性の会 (1)、少年指導員 (1)  
青少年相談員 (4)、教頭先生 (幹事 2)、  
知識経験者 (16) 青少年育成アドバイザーの会 (2)  
自治会代表 (27) うち民生委員と兼任 (4)

3. 誇れる事業

青少年部会の目標「地域の子に積極的に関わろう」

部会活動予算：475,000 円

1) 全域を対象にした事業

- ① (市) 教育の日に「一中地区内親子クリーン作戦」：学校と共催事業  
：教育の日は毎年 7 月の第 1 土曜日  
：事務分担は、4 小学校教頭先生が輪番で行っている。

- : 全域を対象に親子でゴミ拾いを実施。
- : 各学校の先生方と部会役員が各ゴミ集積所に立ち子どもたちへの声掛けとゴミの分別。部会役員で最終処分場へ搬入。年々ゴミが減少。16年間継続。



- ② 親子ふれあいスキー教室（6回目）…2月の第1土曜日
- : 手ぶらで参加（小学生は親子、中学生はどちらもOK）
  - : バス2台
  - : 震災後も満員で実施
  - : スキーを通して親子の絆が強くなる。



## 2) 輪番で行っている事業

当初、コミセンで事業を行っていたが、小学生の学区外行動に規則があり学区外からの参加が不可能と知り、4学区に分けて事業を実施。4年に1回の輪番。

### ① 三世代ふれあいチャレンジ教室（小学校の体育館で実施）

- : 本年度は長堀小学区対象 約210名の参加
- : 参加者…幼・小児、高齢者クラブ、保護者、中学生ボランティア、先生、青少年部会、地域の方（地震後から参加）、
- : 6コーナー：水鉄砲、ぶんぶん駒、けん玉、折り紙、うちわづくり、どんぐりアート、（一巡すると内容を検討）



### ② まゆ玉づくり（伝統行事）…1月の第2土曜日

- : 餅つきとまゆ玉かざりの体験
- : 参加者…幼・小児、保護者、地域の方（地震後から参加）、中学生ボランティア（コーラス部）、先生、青少年部会
- : 飾りつけ後、中学生と一緒に歌って食べて大盛況。
- : 地域の伝統行事として茨城新聞に掲載…2年連続



## 3) 本会事業に参加

### ◎ コミュニティまつり

- : 4コーナーを担当  
綿あめ・チョコバナナ、金魚・ヨーヨー  
手作り工作  
ロボット体験（勝田工高コンピューター部）
- : コーナースタッフ  
中学生、高校生、子ども会育成会、青少年部会、（飛び入り参加もあり）  
……総勢 約140名



#### 4. 部会への支援について

- 1) 自治会長の協力
  - ・事業への参加
  - ・事業のチラシを回覧
- 2) 学校の協力
  - ・学校との情報交換（年2回）
  - ・部会幹事として教頭先生の派遣
  - ・会場の借用
  - ・募集のチラシ配布・回収等
- 3) 中学生・高校生の協力
  - ・コミュニティまつりへ勝田工高生の参加…約12年間
  - ・各事業へ中学生の参加
- 4) コミュニティまつりの予算の支援
  - ・子どもの参加コーナーは無料
- 5) 部会構成員及び役員の協力
  - ・若者からシニアまで部会活動に参加。役員は4地区均等に選任。
  - ・事業に対して連携がとれている。

#### 5. 子どもたちへの期待度

事業を通して数百名の児童生徒が参加しています。将来、体験学習を通して一人でも多く、次代を担っていただけるような子どもたちに育ってほしい。

#### 6. 今後の課題として

- ・子どもたちが考え企画、運営できるよう支援していく事業。

#### ◎まちづくり市民会議（2年目）に第2分科会に参加

分科会名「青少年健全育成と防犯パトロール」

- ◎本年度から安心安全なまちづくりをテーマに「情報の共有化」を上げ不審者情報等、地域全体に発信できる連絡網を作成した。

◎ホームページ開設

<http://www.icchuu.com>